

東金市ガス事業の健全な経営に向けた料金の見直しの検討(案)

*：当該記号のついた用語には資料編に用語説明を記載しています。

1. ガス事業の現状と課題

(1) 経営改善策への取り組み状況 資料編 P2～4 参照

令和2、3年度と赤字決算が続き、経営環境の変化に適切に対応するため、令和4年度に東金市ガス事業の経営改善について、ガス事業運営委員会へ諮問を行い、3つの取り組みを中心に経営改善を進めるよう答申をいただいた。

①コスト縮減への取り組み

- ・職員へのコスト縮減の意識づけと体質改善に向けた取り組み
委託業務に係る受益者負担の見直し 宅内のガス管撤去作業 令和5年度実績 57件
検満ガスメーター*取替の一部直営化(10号・16号)
事務所清掃業務委託の清掃範囲の見直しと一部直営化
ガスホルダー開放検査の技術革新に対応した実施方法の見直し
各種会議のリモート参加(旅費の削減) 等
- ・不要不急、慣行的、効果の薄い業務の休止・廃止・削減
不要なガバナ―*の撤去、借地の返却
- ・原ガス価格の抑制への取り組み
卸元との原ガス価格の交渉の結果、令和4年度に引き続き令和5年度も価格据え置き
- ・予算執行方法の見直し
全ての業務発注を原則一般競争入札に切り替え、公平公正と透明性を確保
- ・委託業務の目的、内容の再精査と見直し
ガス料金徴収包括業務委託(間接収納から直接収納への切替、閉栓メーターの検針のとりやめ)
- ・コスト意識を踏まえたガスメーター管理・運用
長期0指針の閉栓メーターの回収 令和5年度実績237台
※回収したメーターにより、新規購入数を抑制
使用量に見合ったメーター号数への変更
- ・新技術の導入の検討
ガバナ―遠隔監視装置、スマートメーター*の製造業者等の視察 国の補助金の情報収集

②ガス販売量増加への取り組み

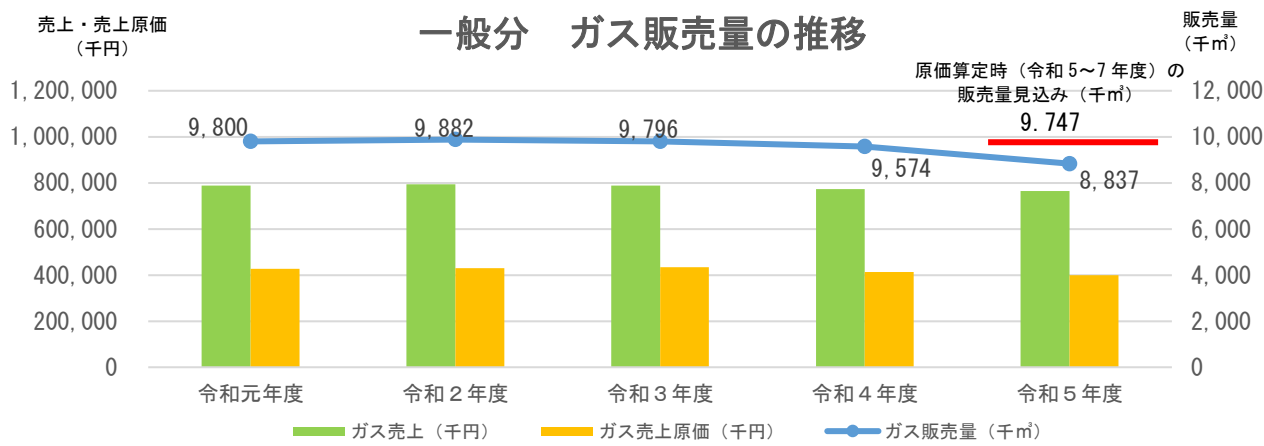
- ・新たな需要家獲得に向けたPR・営業活動
公用车への広告、宅地開発業者へ負担金制度を周知
- ・エネルギー転換検討業者への対応
供給能力調査の実施

③健全経営に向けた料金の見直し等への取り組み

- ・収入の確保
令和5年4月よりガス料金、内管工事単価を改定
資金運用方法の見直し 倉庫賃借料の減免の見直し 広告収入(封筒) 不用品売却 等
- ・計画的な施設更新(ガス事業経営戦略の改定に併せた投資額の再考)
減価償却費*の推移を見つつ、安定供給に資するよう計画的な施設更新に配慮

(2) 現状における課題と考察

①ガス販売量の乖離による影響 資料編 P5～6 参照



項目	R1	R2	R3	R4	R5
ガス売上(千円)	788,703	794,753	788,505	772,979	765,055
ガス売上原価*(千円)	427,004	430,553	434,515	414,008	399,848
純損益*(千円)	8,769	△7,900	△36,875	△27,442	△8,868

積立金	年度末残高				
建設改良積立金*(千円)	658,080	658,080	658,080	658,080	642,854
災害準備積立金*(千円)	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000
利益積立金*(千円)	44,000	44,000	12,216	0	0
未処分利益剰余金*(千円) (△は未処理欠損金*)	12,991	5,091	0	△15,226	△8,868

令和4年度に直近3か年のガス販売実績を踏まえ、令和5年度から令和7年度までのガス販売量見込みを年間約975万m³とし、令和5年4月からガス料金の改定をすることにより経営改善に向けた取り組みを始めた。

しかしながら、令和5年度はこれまでにない温暖化の影響や、生活様式の変化、物価高騰の影響による節約志向の高まり等の影響により、ガス販売量が原価算定時よりも約91万m³減少し、損益として約3,900万円の減益となった。

②原ガス価格等の上昇による影響 資料編 P6～8 参照

原ガス価格については、卸元との協議の結果、令和5年度は据え置きとなったが、ガス掘削に係る電気代(高压電力)等の影響により、令和6年度以降の値上げについて要請があり、電気代上昇等について市でも精査した結果、令和6年度は、ガス1m³あたり1.89円の増額を受諾し、費用として約1,800万円増加した。

なお、令和7年度以降は電気代上昇分に加え、施設維持費分も含めた増額要請が来ている。

また、社会・経済情勢の変化に伴い、令和4年度原価算定時よりも人件費や資機材等様々な費用が上昇しており、コスト縮減に取り組んでいるものの供給販売費及び一般管理費に影響が出ている。